



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ~なかよく 明るく つよく正しく~

いじめについて考える週間

6月2日(火)に、岡山県が設定している「いじめについて考える週間」に合わせて、全校集会を行いました。

校長講話では、いじめは決して特別な場面だけで起こるものではなく、日常の何気ない言動の中にも潜んでいることを伝えました。具体的には、「ひそひそ話」や、SNSやメッセージアプリなどで悪口を伝え合う行為を取り上げました。本人に直接言っていないから大丈夫なのではなく、そのような行為は相手を深く傷つけ、いじめにつながる絶対にしてはいけない行動であることを全校児童に話しました。また、「自分がされて嫌なことは人にしない」ことの大切さについても考える機会としました。

校長講話資料の一部



いやなきもちになる
ひそひそばなしは
いじめです

ひそひそばなしは
しない



わるぐちを
かきこむのも
いじめです

なかよく
ともだちを たいせつにする

続いて、生徒指導担当からインターネットやSNSの利用について話がありました。ネット上でのトラブルを防ぐために、「相手の立場になって、送る前に一度考える習慣をつけること」「ネットの向こうにも自分と同じように気持ちをもった人がいることを意識すること」「書き込む前に『これは家族や先生に見られても大丈夫か』と考えること」など、具体的なポイントを伝えました。

インターネットは便利な反面、使い方を誤ると人を傷つけたり、自分自身がトラブルに巻き込まれたりすることがあります。各家庭でも、インターネットやSNSの利用状況の確認と、利用時のマナーについてのお声かけをよろしくお願いいたします。

書いてはダメなこと

- ・相手が**いやな気持ち**になること
- ・**悪口**や**仲間はずれ**につながる
- ・**からかいの言葉**
- ・**うわさ**や**本当か分からないこと**

ネットやゲームをするあなたへ

- ・「おもしろ半分」「じょうだんのつもり」では**けっして**ゆるされません。
- ・一度ネットに書きこんだら、後で消そうと思っても**消せません**。

ネット・ゲームをする前の 3チェック

- ・「相手はどう思う？」
- ・「画面のむこうにも人がいる」
- ・「先生や家族が見てもだいじょうぶ？」

生徒指導講話資料の一部

「いじめ」と「いじり」

各学年でも道徳や学級活動の時間に「いじめ」について考える学習を行っています。

高学年では、「いじめ」と「いじり」について考える学習を行いました。友達同士で仲良くふざけ合っているつもりでも、言われた相手は実は深く傷つき、嫌な思いをしていることがあります。授業では、何気ない言葉や行動が相手を傷つけることや、「いじり」が「いじめ」につながる可能性があることについて、具体的な事例をもとに話し合いました。

子供たちは、「相手が笑っていても本当の気持ちは分からないことがある」「自分が嫌だと思ふことは人にしないようにしたい」など、それぞれの考えを発表していました。相手の気持ちを想像し、思いやりのある言動ができる子供たちを育てたいけるよう、今後も継続して指導してまいります。



環境とエネルギー～6年生～

6年生は、岡山県地球温暖化防止活動推進員の方を講師にお迎えし、環境とエネルギーについて学ぶ出前授業を行いました。授業では、私たちの生活に欠かせない電気がどのようにつくられているのかを学び、石油や石炭を使う発電と、水力・風力・太陽光などの再生可能エネルギーによる発電の違いについて理解を深めました。児童たちは、地球温暖化との関わりや、二酸化炭素の排出を抑える取組の大切さについて真剣に話を聞いていました。

また、授業の後半には電気自動車の体験乗車も行い、環境に配慮した技術を身近に感じることができました。



水泳学習に向けて

水泳学習の開始を前に、教職員を対象とした救急法講習を実施しました。講師として真庭消防署の方をお招きし、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用方法についてご指導いただきました。

講習では、緊急時を想定しながら説明を受けた後、全教職員が実際に人形を使って胸骨圧迫やAEDの操作を体験しました。万が一の事態にも落ち着いて対応できるよう、一人一人が真剣に取り組んでいました。

子供たちが安全に水泳学習に取り組めるよう、今後も安全管理の徹底と教職員の対応力向上に努めてまいります。

